

4/14
(火)

町農畜産物処理加工施設協定式 世界に向けた商品開発を

指定管理者を募集していた長島町農畜産物処理加工施設の指定管理者が決定しました。

管理者になったのは、みその製造や販売などを手掛ける石元淳平醸造で、4月14日、役場で協定式があり、関係者が出席しました。

川添町長が「町の活性化につながるよう、頑張ってもらいたい」と話し、石元淳平代表は「長島の味噌として、世界に向けて発信できるような商品を開発したい。雇用の確保にもつなげ、町に貢献したい」と意気込みました。



川添町長と固い握手を交わす石元代表(写真左)

4/24
(金)

町道藤之元口之福浦線が完成 輝き続ける地元を願う



距離をとりながらも、記念碑の前で完成を祝う関係者ら

平尾地区から口之福浦港へとつながる町道藤之元口之福浦線の道路改良工事がことし3月に完成しました。

この道路は幅員が狭く、見通しの悪いカーブが多いなど安全確保が地域住民らから求められていました。平成21年度から辺地債事業として、平成25年度から社会資本整備総合交付金事業として総事業費約7億6千万円を投じて道路拡幅などの整備がされました。

4月24日、口之福浦地区で完成記念碑が披露され、地元住民や町関係者が立ち合いました。白濱輝記藤之元自治公民館長は「子どもたちの安全を確保し、水産物や農産物輸送の利便性向上につながることを期待したい」と話しました。

4/27
(月)

県建設業協会出水支部がマスク寄贈 医療福祉従事者へ

鹿児島県建設業協会出水支部は4月27日、サージカルマスク4千枚を町に寄贈しました。

鶴長親雄支部長は「長島町の取り組みに日頃から感謝しており、町の安心安全に貢献したいと考えた。マスクは医療や福祉などに従事する皆さんに使っていただきたい」と話しました。

川添町長は「品薄なので、非常に有難い。新型コロナウイルス感染症の早い終息に役立てたい」と感謝しました。

マスクは、今後町内の医療機関や福祉施設などに配布される予定です。



マスクを寄贈した鶴長支部長(写真中央)